

ぼくの〇〇・わたしの〇〇

年少さんの時の経験（動物や乗り物を作ること）から、身近な素材からいろいろなものができることを発見した子供たち。セロハンテープやボンドの使い方を覚えて、出来上がった作品で遊ぶ喜びも感じました。おうちからの廃品素材がお部屋に集まりだしてきて『早く作りたいな！』とワクワクしながらいろいろなものを作ることを楽しみにしていました。

「うさぎさんがお散歩をしているんだ」「きりんさんって、首が長いんだよ」と楽しく遊んでいる様子や動物の特徴をイメージするようになり、足やしっぽも作ってみようか…と声をかけると「足は4本あるんだよ」「丸い耳がいいな」とさっそく箱やカップを探して、並べたり重ねたりしていました。すると、「何だかグラグラして立たないよ」「どうしてかな…」と考える『同じ形や高さ、長さのものでないと上手に立たない』ということに気が付いた友達がいました。このことをきっかけに同じ絵や形のものを探す友達も増えてきました。

これからも身近ないろいろな素材を使って、自分のイメージしたものを表現する喜びを感じていってほしいと思います。

らん組 担任

みんなで作った動物・ロボットたち



うさぎさんの好きな人参、食べるかな？



何だかうまく付かないな…



どうしてグラグラするのかな…



お散歩に行ってきます！



一緒におままごとを楽しんでいます



お水のむかな？

